

Library News



京教図書館 News

2007

11

私のすすめるこの1冊・・・遠藤 浩（体育学科 准教授）

水野敬也「夢をかなえるゾウ」

10月から始まったNHK朝の連続ドラマ「ちりとてちん」に完全にはまっている。このドラマは福井県小浜市の少女が「自分を変えたい。変わりたい。」と高校卒業後に大阪に出て、落語家になっていく（らしい）物語である。

転校先のクラスにいた同姓同名の何でもできる優等生と常に比べられ（小中高とずっと同じクラス）劣等感をいただいていた少女が、「このままではだめだ、自分を変えたい」と家族の反対の中、はっきりした目標もないままに大阪に出て行くのである。

この文章は「ちりとてちん」のすすめではないので（実はとてもすすめたいたのだが）これくらいにしておくが、この「自分を変えたい」というキーワードが、私のすすめる本「夢をかなえるゾウ」のテーマなのである。

ある朝、「自分を変えたい。成功したい。」と嘆いている20代前半のサラリーマンの部屋にゾウの姿をした神様「ガネーシャ」が現れる。ゾウといってもマンガにでてくるようなふざけた格好のゾウであり（挿絵を見ると）、タバコ、酒、甘いものが好きなメタボリックなゾウで、なおかつ関西弁で寒いギャグをまくしたてる風変わりな神様なのだ。

その風変わりなゾウは、主人公に「自分を変える」「成功する人間になる」ために、毎日ひとつずつ「ガネーシャの課題」を出す。主人公は半信半疑でその課題に取り組んでいくのである。この本は読者にもその「ガネーシャの課題」をするようにとすすめる。

その課題が実にシンプルですぐに実行できる（できそうな）ことばかりなのである。私もさっそく第一の課題である「靴磨き」を実践した。読者である私がこの小説の主人公と同じ体験をしていくような錯覚に陥っていくのである。

（そう、この本は普通の成功書ではなく小説なのだ）

私は今もその「ガネーシャの課題」を実践しつつけている。「会った人を笑わせる」や「何でもいいから人からただでもらう」などの課題はできない日もあるが、できないからといって落ち込むこともなく、今度はそうできるように頑張ってみようと気楽に思えるところがいいのだ。

主人公の青年がガネーシャの課題にとりくみながら何を感じていくのかを、同じく課題に取り組んだ自分（読者）が共有することも本当に面白く感じるし、深く考えさせられることにもなった。

本屋に行けば、今の自分を変え、人生を成功に導こうとするための本が山ほどあることに気づく、それは成功した人間の伝記であったり、大手社長の人生論であったり本当に様々である。私も若い頃には、「20代で何をすべきか」と題した本を買って読んだが、そこに書かれたことを実践できないままに20代は終わってしまった気がするし、今ではその内容を思い出すことすらできない。

しかし、この本はそれまでの成功書と呼ばれるものとは完全に次元の違う本なのだ。なんたって読んでいて楽しいから。

作者である水野氏は慶應義塾大学在学中に、友人と新宿・渋谷の路上で1分100円で人をホメちぎる「ホメ殺し屋」を営み（遊びではなく）、ホメ殺し屋解散後に執筆活動に入ったという変わり種の作家である。作者の遊び心がこの本にあふれているのはある意味当然としても、一流大学を卒業しながら風変わりな人生を自分の力で切り開いていった彼自身の人生観もかいま見ることができるようだ。

（次ページに続く）

NHKの連続ドラマ「ちりとてちん」の主人公喜代美が「変わりたいとずっと思っているけど、やっぱり変われない」と嘆くシーンを見るたびに、私もそうだと思う。四十をすぎた大学教員だって今の自分を変えたいと思っているし、もっと大きな人物になりたいと模索している。そしてそれがなかなかできないと嘆くことばかりである。そんなおじさん先生にもこの本は大きな影響を与えたのだ。

これから自分の進路を模索しなければならぬ不安を持ち、恋愛に悩み、自分とは一体何なのかを問いかけ、落ち込むことも多い大学生諸君よ！！ だまされたと思ってこの本を読んでみよう。

きっと何か大きなきっかけになることを私（マメさん）が保証する。

最後に、朝の連続ドラマ「ちりとてちん」もよろしく。本当に面白いんだから。

『夢をかなえるゾウ』 水野敬也 著 出版社：飛鳥新社 2007年8月 定価 1,680円

■ 図書館からのニュース

1. 11月の論文検索・収集方法講座会

雑誌論文のデータベース CiNii を使った論文の検索から、実際の入手方法まで、パソコンをついながら実習形式で説明します。

「論文を読めと言われたけど、図書館のどこに置いてあるの?」という方も、「書庫に入ってみたけど、なんだかよくわかんない」という方も、まずはここから始めてみましょう。

事前申込は不要です。直接カウンターまでお越し下さい。

11月1日(木)16:30-17:00 11月21日(水)13:30-14:00

11月9日(金)10:30-11:00 11月27日(火)16:45-17:15

11月15日(木)17:30-18:00

2. 京都市立藤森中学校「生き方探求・チャレンジ体験」に協力します

11月5日(月)から8日(木)の4日間、藤森中学校の生徒が図書館で勤労体験実習を行います。利用者の皆様のご協力をお願いいたします。

3. 第12回 教科書展

今年度は「中等教育用教科書(社会編)」と題した教科書展を次の期間開催しますので、是非お越し下さい。

日時 11月8日(木)～14日(水)、23日(金・祝)

10時～17時、ただし、23日オープンキャンパス日については、(14時まで)

(11月11日(日)、23日(金・祝)は教科書展のみの開催で、通常の利用はできませんので、ご注意下さい。)

場所 図書館1階ロビー

4. 大盛況の「うた」と「おはなし」の会

10月21日(日)に附属図書館視聴覚室で「うたとおはなしの会」を開催した。この会は、地域の就学前の子どもたちと保護者を対象に幼児教育科音楽教育(平井)ゼミに所属する学生が中心となって年2回(春・秋)開催しているもので、今回で9回目となる。当日は晴天にも恵まれ113名という大勢の参加者で会場は熱気に溢れた。

プログラムは、大型絵本、パネルシアター、エプロンシアター、紙芝居、楽器遊びなどで、今回は、特に、大型絵本「おまえうまそうだな」では幼い子どもたちにとって言葉だけでは伝わりにくい感情的なメッセージをより明確に伝えるため情景に合わせた電子ピアノによる生演奏(「踊る時計」(湯山昭作曲)、「波のアラベスク」(三善晃作曲)など)を取り入れ、保護者からは「音楽とお話のイメージがぴったり合っていた」「感情がこもっていて子どもも私もぐっと引き付けられた」という感想が得られた。また、覚えやすいメロディーを繰り返し用いてのパネルシアター、エプロンシアター、紙芝居では、演じ手と会場の子もたちが一体となって歌をうたいながらお話を楽しむ姿が見られた。そして、プログラムの合間に行われた「おすわりやす」や「おおきなくりのきのしたで」

などの遊びでは、親子がスキンシップを伴いながら触れ合う姿が見られ、会場は歓声と笑顔に包まれた。終了後のアンケートでは、参加者から「子どもを飽きさせないプログラムで、あっという間に時間が過ぎました。」「親子で夢中になって観させていただきました」「子どもが来年小学生になりますが、続けて参加したいです」などの好意的な意見が寄せられた。この会が回を追うごとに参加者の要望や期待に応えながら成長し、本学学生と地域の子どもたちはもちろん、保護者にとっても心の拠り所となりつつあることを実感した。

(文 幼児教育科 平井准教授)



5. 図書館のマナーについて

最近、館内で飲食をする人が目立っています。図書館は学内者も学外者も利用する公共の場です。利用者のことを考え、マナーはしっかりと守りましょう。

- ・館内での飲食・喫煙は禁止です。
- ・館内では静かに。携帯電話の電源も切ってください。
- ・資料の取り扱いには丁寧に。館内利用後は元の位置に戻してください。
- ・資料を館外に持ち出すときは、必ず貸出手続きをしてください。
- ・学生証・図書館利用証・入館証を他人に貸してはいけません。
- ・書き込み・切り取り・付箋の貼り付けなどは、大切な資料を傷つけてしまいます。

6. 校舎耐震改修工事に関連するお知らせ

耐震改修工事に関連して各先生方からの図書館へ返却する書籍等を入れた相当数のダンボール箱を館内のいたるところに所狭しと積んでいます。狭い上にさらに狭くなり何かとご不自由をお掛けしますが、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

■ 論のくちび理のむすび・・・武田一郎教授（社会科学科）

「砂州地形に関する用語と湾口砂州の形成プロセス」

武田 一郎： 京都教育大学紀要 No.111: P79-89, 2007

砂州は、波と沿岸流によって形成される細長い堆積地形である。砂州には様々なタイプがあり、それらは湾口砂州、湾央砂州、舌状砂州、陸繋砂州（トンボロ）、環状砂州、河口砂州などに分類されている。ただし、単に「砂州」と言えば、それは湾口砂州を指す場合が多い（狭義の砂州）。また、海岸線とほぼ平行に伸びるバリアーは、沿岸州、沖州、沿岸外州などと様々に訳され、さらに狭義の砂州と形成プロセスや規模がまったく異なるにもかかわらず、「砂州」と訳される場合もある。また頂部が水面下にある海底砂州も単に「砂州」と呼ばれることがある。

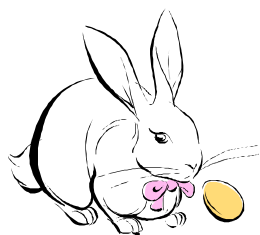
英語でも砂州とバリアーが区別されず共にbar, sand bar, sand bank, barrierと呼ばれることがある。また、正確にはsubmarine barである海底砂州についても単にbarが用いられることが多い。さらに、砂嘴（spit）の一種である単純砂嘴が狭義の砂州と混同されたり、barと訳されたり、狭義の砂州が逆にspitと訳される場合もある。このように、「砂州」は用語的にかなり混乱しているので、専門書・教科書・辞書にあたる際には注意が必要である。

狭義の砂州である湾口砂州は、高海水準時に形成された海底砂州が離水したものであるとの考え方が主流である。しかし、(1) 砂州は沈降性の海岸に発達すること、(2) 海底砂州が海面を通過する際、波力に抗ってその形態を維持するとは考えられないこと、(3) 海底砂州が形成されない内湾や礫海岸にも砂州が発達すること、(4) 波による地形変化速度は氷河性海水準変動の速度に比べれば桁違いに大きいので、海水準が低下しても海底砂州は沖方向にシフトするのみであることなどから、この考え方は否定されよう。

典型的な湾口砂州である京都府宮津湾の天橋立も、現在よりも海面が3mほど高かった後氷期海進の最盛期（約6千年前）に形成された海底砂州が離水したものと考えられてきた。しかし、天橋立の頂部高度は最大でも2m程度であること、現在の波が到達する高さとの差が0.5mにも満たないこと、その差が沿岸方向に変わらないこと、そして前述の(1)～(4)により、この砂州は海水準がほぼ現在のレベルに低下した後に（3000年～2000年前以降）、最初から陸上に顔を出す地形として短期間に一気に成長したと考えるのが合理的である。

全文は図書館HP「京都教育大学紀要」で、ご覧いただけます。

■ 図書館開館スケジュール



(通 常)
 開館時間 : 9:00
 閉館時間 : 21:00
 一部期間は 17:00 に閉館します
 下記カレンダー「~17:00」と記載

11

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
								1	2			3	
													休館
4		5	6	7	整	8		9	10				~17:00
休館					休館								
11		12	13	14	15	16	17						~17:00
休館													
18		19	20	21	22	23	24						~17:00
休館						休館							
25		26	27	28	29	30							休館
休館													

11月3日(土)は祝日のため休館します。
 11月7日(水)は館内整理のため休館します。
 11月11日(日)、23日(祝)は「教科書展」のため開館しますが、通常の図書館利用はできません。

12

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
												1	
													休館
2		3	4	5	整	6		7	8				~17:00
休館					休館								
9		10	11	12	13	14	15						~17:00
休館													
16		17	18	19	20	21	22						~17:00
休館													
23		24	振	25	26	27	28	29					休館
休館	休館	~17:00	~17:00	~17:00	休館	休館							
30		31											休館
休館	休館												

12月1日(土)は推薦入試のため休館します。
 12月5日(水)は館内整理のため休館します。
 12月24日(月)は振替休日のため休館します。
 12月25日(火)から12月27日(木)まで短縮開館です。
 12月28日(金)から翌1月6日(日)まで年末年始のため休館します。

京教図書館 News No. 86 2007年11月号
 編集発行：京都教育大学附属図書館
 発行日：平成19年11月1日
 内容に関するお問い合わせ先：
 附属図書館 (内線 8176)